



七ヶ宿中学校

望湖克己学館だより

夏休み明け、元気に登校しました。

夏休みは、大きな事故や病気等もなく過ごせたようでありました。生徒たちは、部活動に勉強にと忙しい日々だったのではないかと思います。27日には、全学年で実力テストが実施されました。夏休みの勉強の成果が発揮されたことを祈ります。9月には、1学期末考査があります。1学期で学んだ学習内容がしっかり定着するよう最後のまとめをしっかり頑張してほしいと思います。保護者の皆様には、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

生徒会レクリエーション大会 大いに楽しみました!

7月18日、生徒会の企画・運営で実施され、生徒たちの笑顔がはじけました。この大会を成功させようと頑張った生徒会のリーダーたちに感謝です。全校生徒が心から楽しそうに笑顔で活動する姿が、何よりの喜びになったものと思います。



校内かくれんぼ



チーム対抗〇×クイズ

「夏休み学習塾」盛況でした。



夏休み期間中、会議室を学習室として開放しました。1日平均4名程度の生徒が利用していました。中には、ほぼ毎日来て学習している生徒もいました。特に、午前中から登校して午後まで、黙々と勉強する3年生の姿が印象的でした。1・2年生は、部活動の後、午後から学習室を活用していました。昼食時は、和やかに話しをしたりしていましたが、勉強が始まると、集中して取り組んでいました。夏休みの宿題や受験勉強等、かなり進んだものと思います。

勉強する3年生の姿が印象的でした。1・2年生は、部活動の後、午後から学習室を活用していました。昼食時は、和やかに話しをしたりしていましたが、勉強が始まると、集中して取り組んでいました。夏休みの宿題や受験勉強等、かなり進んだものと思います。

『駅伝練習 頑張りました!』

8月30日に角田市の陸上競技場で、三地区駅伝競走大会が開催されました。大会に向け、夏休みの暑い中、練習に励みました。8月7日と21日には、大会会場で試走を行いました。本校からは、女子1チームが出場となりました。応援ありがとうございました。



七ヶ宿小学校
学校だより

七つの里

七小っ子が南の島で交流!

<宇検村交流体験事業8/6~9>

台風9号、10号の接近で心配された影響はほとんど無く、7名の6年生は3泊4日の奄美大島宇検村での体験交流学习を十分に満喫しました。1日目は初めての飛行機の旅に「すごい!」と感動した子供たち。昼食に郷土の名物「鶏飯」を食べた後、泥染め体験でTシャツやハンカチ作りを行いました。2日目は宇検村の6年生と一緒にマリンスポーツを楽しみました。初めての体験で「怖い…」と言っていた子供たちも、やってみると楽しくて何度も海に飛び込んだり、バナナボートに乗ったりしました。夜はペンダント作りやバーベキュー、花火を通じて更に交流を深めました。3日目はマングローブ林をカヤックに乗って探検し、夜のバスでのナイトツアーでは運良く天然記念物「アマミノクロウサギ」に出会うことが出来ました。4日間に渡り、南国ならではの自然を堪能した子供たちでしたが、12月には宇検村の子供たちが来町し、一緒にウィンタースポーツに親しむ予定です。その時は七ヶ宿の子供たちが持ち前のスキー技術で宇検村の子供たちをリードしてくれることでしょう。



<7日:タエン浜での集合写真>



<6日:大島細村で泥染め体験>



<7日:タエン浜でバナナボート体験>



<8日:マングローブ林カヤック体験>

ようやく夏本番! 更なる泳力アップを!



<7/24・25 夏休み水泳教室>

7月24日と25日の2日間、夏休み水泳教室が開かれました。昨年より活動時間を30分長くし、中身の濃い内容になりました。初日の23日は天候不順で中止になりましたが、翌日からの2日間は天候に恵まれ、子どもたちは久しぶりのプールを楽しみつつ泳ぐ力を伸ばすことができました。

新学習指導要領の完全実施に向けて!



<7/24 プログラミング教育研修会>

この日は外部講師を招いてプログラミング教育の研修を行いました。来年度から新学習指導要領が完全実施されますが、外国語の教科化だけでなく、「プログラミング教育」も改訂の目玉の一つになっています。教育の在り方が大きく変化するのに合わせて、教員も日々学び続けています。

アメリカのマサチューセッツ工科大学 (MIT) のメディアラボが開発したプログラミング学習用ソフト Scratch (スクラッチ) を活用して研修しました。

プログラミング教育とは?

プログラミング思考を育てることです。では、プログラミング思考とは何でしょうか。文部科学省は「自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていくこと」と定義しています。つまり「目的やゴールから逆算し物事を順序立てて考え、結論を導き出し、実行できるようにすること」といったところでしょうか。分かりやすい例を挙げれば、料理のレシピを作って実際に調理することも、プログラミング思考のイメージにぴったりということです。